

ZENBUTSU

全仏



No.
570

仏暦2554年6月
[2011年]



名古屋 桂芳院の愚痴聞き地藏さま — 撮影 仏像ガール®

目次

- 花まつり対談
河野太通会長×岡田裕介東映株式会社代表取締役社長……………2
- 加盟団体をゆく 第42回 法華宗本門流……………4
- 各団体の被災地支援情報……………6
- 特別企画「禅にふれる旅 妙心寺ツアー」報告……………8
- 浄土真宗本願寺派・真宗大谷派親鸞聖人750回大遠忌法要……………9
- 救援基金募集のお知らせ……………10
- 各地の東日本大震災四十九日法要……………12
- 本会推薦映画『手塚治虫のブッダ』全国ロードショー中……………12

しあわせを分かち合い感謝する日

【花まつり対談】 河野太通会長×岡田裕介社長

全日本仏教会では、花まつり全国展開を推進しており、本年は東映映画『手塚治虫のブッダ』赤い砂漠よー美しくーを推薦し、花まつりと映画の共同アピールするポスターを製作、加盟団体寺院への掲示協力を呼びかけました。

今回、花まつりの更なる推進を目的として、三月八日に河野太通本会会長と岡田裕介東映株式会社代表取締役社長の対談が京都妙心寺において行われました。

(聞き手 戸松義晴事務総長)

花まつりの全国展開について

戸松義晴事務総長 (以下 戸松) 「本日はご多忙の中ご協力誠にありがとうございます。まずは『花まつり』の全国展開に関する思いをお聞かせ下さい」

岡田裕介社長 (以下 岡田) 「今思えば子供の頃、何とはなしに綺麗なお花に囲まれたり、甘茶を仏

様にかけたりといった花まつり行事に参加させて頂いておりました。最近では日本でもクリスマスが大きくクローズアップされていますが、クリスマスが一体何の日なのか?という事を認識していない方

も多いのではないかと感じています。花まつり行事も、個人的には最初のきっかけとしてはそれでも良いのでは、と思います。

今回の共同ポスター製作等やロータスターの推進を通じて花まつり推進のお手伝いができれば、と考えております」

河野太通会長 (以下 河野) 「私も個人的に、晋山式の際に参加頂



河野太通会長 プロフィール
元花園大学学長、社団法人アジア南太平洋友好協会RACK会長、臨濟宗妙心寺派三十三代管長、全日本仏教会会長



岡田裕介社長 プロフィール
映画プロデューサー、東映株式会社代表取締役社長、株式会社ティ・ジョイ社長

いた約五百七十世帯にお花とおしゃかさまのカードをお送り致しました。『フラワーデー』のような形で、花まつりが広まってくればいいな、と思っております。バレンタインデーやクリスマスも最初は小さな取り組みから広がっていききました。様々なきっかけを通じて『花まつり』の推進を行って頂き、

社会的な仏教の宣布に通じると非常にありがたい、と感じております」

戸松「今回、四月八日をロータスターと制定した事についてお聞かせ下さい」

岡田「最初は語呂合わせだったのですが、『し(四) あわ(八) せを分かち合い、感謝する日』として四月八日をロータスターとして制定しました。

様々な企業にご協力を頂き、象徴的なハスの花をイメージした食べ物、飲み物、ファッション等といった風習としてやさしく人々に伝えていく、という方法を考えイベント展開を致しました」

河野「幸せをわかちあうという発想は、釈尊の根本的な考え方の一つである『自分と他者とは一体だと考え、自分の幸せは貴方の幸せと考える』という部分で、それが具現化されれば素晴らしいと思います」

映画『手塚治虫のブッダ』 公開に関する思い

戸松「今回、映画を製作するきっかけを岡田社長に、映画をご覧になった感想を河野会長にお話頂きたいと思います」

岡田「私自身、曹洞宗の檀家ではございますが、実は当初はそれほど仏教に関して深い知識や関心を寄せてはいませんでした。それが変わったきっかけは二〇〇一年にバーミヤンの石仏がタリバンに破壊された、というニュースを聞いた時非常に衝撃を受けました。何故仏教がこんな迫害を受けなくてはならないのか、何か自分に来ることはないものか、という思いが生まりました」

戸松「そうした思いから、映画製作を考えたのですか？」

岡田「はい。様々な書籍等を拝見させて頂いて、最終的に全ての根本であるお釈迦さま、『ブツダ』に行き着いたのですが、映画を作ろうという発想で考えると実写の場合、主人公をどの俳優にするか、という点に対して自分の中で解答が生まれませんでした。

そこで、ある程度普遍的に受け

入れられるアニメにしよう、と考え、個人的にも知っていた手塚治虫先生の漫画『ブツダ』をアニメ化しようと考えまして、今回の映画製作に至りました」

河野「映画の感想についてですが、お釈迦さまの生涯や教えについて考える際に、まず必ず知っておかなくてはならないのは当時の社会的状況についてです。約二千五百年も前ですし、カースト制による身分制度も現代日本と大きく違います。映像では残っておらず、実際に見た方も誰もいません」

岡田「そこは、大変苦労しました」

河野「実際に映画を拝見して、当時の情景が非常によく描かれているな、と感心しました。一仏教者として素直にありがたく感じます。特に当時の不条理な困難に遭遇する場面は、現代社会にも大いに通じるところがあります」

岡田「お釈迦さまに関してかなり調べても、神懸かり的な能力やエピソードにはほとんど遭遇しませんが。だからこそ、人々の心にこれだけ深く響くのだ、と思います」

河野「是非、少しでも多くの人にそうしたお釈迦さまの生き方を伝えていって頂きたい、と思います」

「仏教界が社会に

伝えるべきこと」

河野「皆、誰しも幸せになりたいと願っていると思うのですが、自分が幸せになる道と、人々が幸せになる道は合致していなければならぬ、という認識を持たねばなりません。自分だけが幸せになり、人が不幸になっても良い、という考え方が一番ハッキリ現れるのが戦争です。そういう道を歩いてはいけない、というのが釈尊の教えの根本だと私は思っています」

岡田「はい」

河野「ところが、どうしても世間一般の仏教のイメージというと、葬式であったり法事であったりと、そういうイメージが先行してしまいうきらいがあります」

岡田「お釈迦さまも、生老病死について語っておられますし、実際僧侶の方々も様々な活動をなされていると思うのですが、やはり一

番イメージが強いのは死に関わる部分、という感じはします」

河野「仏教は平和的な宗教とおっしゃって下さる方もいらっしゃいますが、疑問を持つ方もいらっしゃいます。過去の戦争の折に戦争に参加した僧侶も事実多数おります。そうした反省に基づいて、仏教教団が再び戦争に協力するようなことにならないよう心しなければなりません。そして、そういう事が言えなくなる社会が来ないようにするのが先ず我々の役目と感じております。

お釈迦さまは、母国が攻め滅ぼされた際に『怨みを抱いてはいけない』と弟子達に説きました。現代の仏教者は、生きていく人の悩みに答えるべく、そうした釈尊の歴史的事実を元にその教えをより積極的に説く必要があると考えます」

(誌面には対談の一部を掲載しております。続きは全日本仏教会ホームページにて公開予定です)

<http://www.jbfn.jp/>

加盟団体をゆく

《第四十二回》法華宗本門流

今回は法華宗宗務院をお訪ねし、二瓶海照宗務総長にお話を伺いました。

—— 貴宗派で継続的に、もしくは最近力を入れている活動に関してお聞かせ下さい ——

法華宗本門流は、四大本山という形で光長寺（静岡県）、鷲山寺（千葉県）、本能寺（京都府）、本興寺（兵庫県）四つの本山が平等の位置づけで宗門の運営を行っております。

宗門では師弟の教育を最重要課



二瓶海照法華宗本門流宗務総長

題の一つと考えており、興隆学林という専門学校を持っております。卒業すると僧侶としての資格を得られますが、三年に一度、教学講習会を受講し試験を行い、それをクリアしなければ僧階が上がらないという制度となっております。「ハードよりソフト」を基本の考え方とし、教師の育成、信徒の信仰増進、寺庭婦人や檀信徒等の研修を各教区で進める事を積極的

に推奨しております。今年九月下旬には、宗務院が主催して各教区の寺院より檀信徒代表者に参加して頂き、数百名規模で一泊二日の研修会を行う予定です。寺院の後継者不足も非常に深刻な問題です。宗門としてもそれに対処しなくてはならず、宗務院主催で情報収集を行い、出合いの場を提供する取り組みも進めております。

今後教師の育成・檀信徒教化や少子化・高齢化による後継者問題等に対する研究・対策に力を入れていきたいと思っております。三月十一日に発生致しました東日本大震災に關しまして、心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災者のため宗門をあげて様々な支援活動を行っております。三月十五日よりポスターや当宗布教機関を通じて義捐金募集を始めました。これにより、各寺院教会の檀信徒からだけでなく、各教区宗務所や各青年会が街頭での募金活動も行っております。これらの義捐金は、第一回目として六月頃被災した宗内寺院と各県庁へお届けする予定です。実際の救援活動としては、三月十七・二十二日、四月四日に被災した寺院と近隣の市役所へ救援物資を搬送し、現地視察をいたしました。また、一ヶ月を迎えた四月十一日には、毎年行っている千鳥ヶ淵墓苑において、戦没者慰霊法要と併せ犠牲者の慰霊法要も奉修いたしました。全日本仏教会から呼びかけのあった四十九日忌法要も、この日は我々の立教開宗会という聖日でもあり、各本山各寺院教会においてそれぞれ法要が執り行われ、犠牲者のご冥福をお祈りいたしました。被災地の方々が、一日も早く安穩な日々を迎えられるように、様々な活動を通じて応援したいと考えております。

—— 現代社会に対する思いをお聞かせ下さい ——

自殺者が年間三万人を超えていて、命を粗末に扱ってしまいう風潮が広まってしまっているのは大変残念に感じております。

その引き金ともなりかねない、いじめ、児童虐待は本来あつてはならない問題なのですが、残念ながらマスコミに取り上げられているのは氷山の一角と考えています。宗教家も全力を注いで解決していかなくてはなりません。

こうした問題を解決する場合は

心の問題にどれだけ寄り添えるかが重要になってくると思います。

その解決策の一つとして柱になるのは積尊が、当時カースト制度の中ですら平等を説いたその互助精神だと考えます。

実力主義、成果主義が叫ばれる世相となっていますが、企業もある程度利益を社会に還元するような発想を持たなくては企業が発展すればするほど皆が不幸になるような事態を招きかねません。

また、宗教者も困っている人々の良き相談役にならなくてはなりません。ボランティアや社会奉仕もとても重要ではありませんが、自分が幸せになるには相手が幸せになるしか方法がありません。相手を思いやり、仏様の慈悲心を伝える事もこの混迷の時代にはとても必要と感じています。

—— 仏教界に対する思いをお聞かせ下さい ——

宗派の教義に関してでも、仏教学全般に関してでもそうなのですが、人材の枯渇は深刻な問題だと

思っております。専門の研究者がどんどん少なくなってしまうように感じています。

一例を挙げれば、宗教学者・仏教学者という方で知名度がある方もとても少なくなってしまうというにも感じます。テレビや新聞等に「葬式などいらぬ」という方が仏教学者として紹介されているのは、仏教界全体の人材不足もその原因があると考えています。

各宗派の海外布教が思うように進まない原因も人材育成の問題、後継者不足の問題が大きいように感じております。これら人材育成の問題に関しては、宗派の枠を超えて仏教界全体が丸となって取り組んでいかなくてはならない問題だ、と感じています。

—— 全日本仏教会に対するご要望やご意見をお聞かせ下さい ——

他の宗派がどういった問題点に直面しているか、どういった対策を行っているか、といった情報が共有できると宗門運営に役立つの

みならず、仏教界全体にとっても非常に大きなメリットがあると感じております。

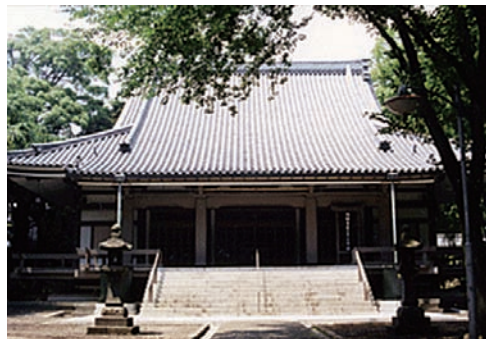
全日本仏教会はそうした意味で非常に果たす役割が大きいと思いますので、今後は是非そうした意見交換や情報共有の場を設けてい

ただけると大変ありがたい、と感じています。(談)

法華宗本門流ホームページ
<http://www.hokkeshu.or.jp/>
 興隆学林専門学校ホームページ
<http://www.gakurin.ac.jp/>



大本山鷲山寺 (千葉県)



大本山光長寺 (静岡県)



大本山本興寺 (兵庫県)



大本山本能寺 (京都府)

各団体の東日本大震災支援活動について

東日本大震災支援活動として現地では加盟団体・ご寺院等が様々な支援活動を行っておりますが、その活動の一部を掲載させて頂きます。詳細につきましては全日本仏教会ホームページをご覧ください。

<http://www.jbfne.jp>

●曹洞宗（五月十六日現在）

被害が甚大な寺院にプレハブ（ユニットハウス）の設置を開始。仮本堂や遺骨の仮安置所として利用される。

五月十一日には佐々木孝一宗務総長が被災地を訪問し、被災者・被災寺院にお見舞いと義援金を手渡した。

●天台宗（五月十一日現在）

五月十一日に気仙沼市・観音寺で半田孝淳天台座主を導師に慰霊法要を勤修。

●臨済宗妙心寺派（五月十日現在）

ホームページ上にて妙心寺派内の寺院・檀信徒を対象に現地活動ボランティアと住宅支援（避難者の受入）ボランティアの募集及び登録を行っている。

また、臨済宗が中心となって活動している超宗派組織の「薪流会」にて大野祥雲会長以下十四人が東日本大震災の被災地を訪れ、宮城県東松島市で二日間にわたり計約二千人を対象にバーベキューの炊き出しを行った。なお、薪流会では岩手県一関市にボランティア宿泊所「薪流村」を開設した。定員は男女各三十名程、宿泊費無料にて光熱費を頂戴している。予約はホームページから。
<http://shinryukai.jp/>
http://shinryumara_top.html

●真宗大谷派（五月六日現在）

東松島市内避難所・気仙沼市、陸前高田市、大船渡市内避難所・南三陸町総合体育館等に救援物資

を輸送。他、現地救援本部に順次救援物資の搬送を行っている。

また、炊き出し等のボランティアを岩手県下閉伊郡山田町・宮城県牡鹿郡女川町・亶理町災害ボランティアセンター等にて行った。

●浄土真宗本願寺派

（五月六日現在）

東京教区現地緊急災害対策本部が各地に支援物資を届けた。支援物資搬送先

福島県郡山市の避難所（ビックパレットふくしま 四月十九日）・宮城県名取市役所（四月二十五日）・岩手県釜石市災害対策本部（シープラザ釜石）及び宮城県仙台市太白区「NECトーキン」（四月二十六日）・仙台別院及び宮城県岩沼市「がんばろう岩沼」（四月二十七日）・福島県二本松市役所（四月二十八日）

また、四月二十九日から五月三日まで宗務所員二十名が東北教区災害ボランティアセンターにて瓦礫撤去・清掃作業・民家等での流入物撤去作業を行った。

四月三十日まで被災者受け入れ登録を受け付け、寺院・関連施設百五十五件の登録を受け付けた。

●浄土宗（五月六日現在）

宗務総長、内局及び職員が数次にわたり岩手・宮城・福島・茨城教区の被災寺院を訪問し、見舞い、現地視察を行っている。

また、救援物資については、直接搬入に加え、NPO法人セカンドハーベスト、自民党本部を通じて支援を行っている。

詳細な対応状況は浄土宗ホームページ (<http://www.jodo.or.jp/>) で公開中。

●高野山真言宗

（四月二十一日現在）

四月二十一日に神奈川宗務支所 神奈川雅楽部、同後援会八名が千葉県旭市飯岡保険福祉センター内避難所にて昼食の炊き出しを行った。四月二十八日に同市海上公民館にて再び実施。

「祈りと希望の鐘」を撞きましょう

河野太通会長が四十九日法要・鳴鐘を呼びかけ

河野太通会長より本会加盟団体に
対して、大震災犠牲者追悼の四
十九日法要の開催、及び地震発生
時刻に全国寺院にて鐘を鳴らすお
願いを四月十四日に行いました。

今回の呼びかけは、文書及びイ
ンターネット上の動画投稿サイト
「YouTube」にて全国の寺院へ呼
びかけを行いました。呼びかけ文
及び動画は左記本会ホームページ
よりご覧下さい。

<http://www.jbfn.jp/>

この呼びかけに応じ各団体寺院
にて四十九日法要・鳴鐘が厳修さ
れました。

(本会で把握している、法要・鐘
撞厳修団体一覧)

臨済宗妙心寺派(妙心寺)・真言
宗智山派(総本山智積院・大本山
成田山新勝寺)・日蓮宗(身延山
久遠寺)・天台宗(比叡山延暦寺)・
真言宗豊山派(総本山長谷寺・大
本山護国寺)・聖観音宗(金龍山
浅草寺)・真宗高田派(専修寺)・
新義真言宗(総本山根來寺)・顕
本法華宗(総本山妙満寺)・臨済

宗円覚寺派(本山円覚寺)・真言
宗大覚寺派(大本山大覚寺)・真
言宗須磨寺派(須磨寺)・和宗(四
天王寺)・法華宗真門流(総本山
本隆寺)・西山浄土宗(総本山光
明寺)・時宗(総本山清浄光寺・
遊行寺)・華嚴宗(東大寺 全日本
仏教青年会主催)・孝道教団(孝
道山本仏殿)・融通念仏宗(総本
山大念佛寺)・念法眞教(総本山
金剛寺)・真言律宗(総本山西大
寺)・真言宗泉涌寺派(総本山御
寺泉涌寺)・天台眞盛宗(西教寺)・
浄土宗(総本山知恩院・大本山増
上寺)・金峯山修験本宗(金峯山
寺)・天台寺門宗(総本山三井寺・
円城寺)・真言宗犬鳴派(大本山
犬鳴山七宝龍寺)・浄土真宗本願
寺派(西本願寺)・高野山真言宗(大
聖院)・法華宗陣門流・真言宗醍
醐派(総本山醍醐寺)・善光寺

その他、全国各地多数の寺院で
法要・鐘撞が厳修されました。(詳
細等は本会ホームページ及び十二
頁に掲載)

被災地で活動されている加盟団体の皆様へ 支援金拠出のご案内

全日本仏教会では救援基金より、
被災地で支援活動に当たられてい
る方々へ支援金を拠出させていた
だいております。

加盟団体の皆様におかれまして
は、現地で実際に活動されている
団体を是非ご紹介下さい。支援活
動の一助になれば幸甚でございま
す。

詳細は全日本仏教会までお電話
にてご連絡下さい。

(TEL: 03-3437-9275)

○支援先活動例

読経ボランティア・こころのケア
相談所開設・炊き出し・瓦礫撤去・
足湯サービス・避難場所提供・行
茶・寺院片づけ等

支援先一覧【四月二十七日現在】

① 仏教会等

岩手県仏教会
福島県仏教会
茨城県仏教会

相馬市仏教会
福島市仏教会
郡山市仏教会
二本松和合会
会津若松市仏教会
(社)仙台仏教会
全日本仏教青年会
岩手県曹洞宗青年会
盛岡市仏教会
釜石市仏教会
名取市仏教会
石巻市仏教会
塩竈市内連合寺院
真言宗智山派福島第一教区智山青年会
長野県上伊那仏教会青年部
原町仏教会
真言宗智山派宮城教区智山青年会
福島県日蓮宗妙経結社
真言宗智山派栃木智山青年会
東京都仏教連合会
一関仏教会

② 被災者受入寺院(支援活動)

曹洞宗 龍昌寺
曹洞宗 石心禅寺
曹洞宗 常安寺
日蓮宗 仙寿院
真言宗智山派 金剛寺
曹洞宗 常運寺
臨済宗妙心寺派 慈恩寺
曹洞宗 吉祥寺
曹洞宗 龍昌寺

(順不同 敬称略)

全日本仏教会
特別企画
禅にふれる旅
妙心寺ツアー

全日本仏教会企画のもと、「禅にふれる旅 妙心寺ツアー」が四月二十二日～二十三日に妙心寺（京都）で開催されました。

本ツアーは本会賛助会員の皆様を中心に、日頃からの感謝の心を形にしながら是非仏教にふれていただくという主旨のもと企画され、臨濟宗大本山妙心寺を中心に、仁和寺や龍安寺、退蔵院等の全面的なご協力のもと開催されました。（主要な日程表は下図参照）

◎ツアー詳細

場 所：妙心寺、仁和寺、龍安寺、退蔵院他

宿 泊：花園会館
料 金：一万五千元（食事、夕、朝・昼各一回、花園会館宿泊代込み）

参加人数：十七名（その他全日本

仏教会事務総長戸松義晴他職員二名、添乗員一名）

◆四月二十二日（一日目）

参加者一同が妙心寺花園会館にて集合、妙心寺内、仁和寺内、龍安寺内の特別拝観を実施。

退蔵院書院を夕食会場にし、河野太通本会会長（妙心寺派管長）を迎え、妙心寺南門前の精進料理店「阿じろ」（ミシュラン一つ

星）の旬の食材を使った見事な精進懐石料理をいただきました。

河野会長の乾杯の挨拶の後参加者へ会長御真筆色紙と扇子のプレゼントが行われ、参加者の皆様には大変満足していただきました。



参加者一同と河野会長による集合写真撮影



河野会長と参加者が夕食及び歓談（妙心寺内退蔵院書院にて）

◆四月二十三日（二日目）

早朝、妙心寺法堂にて坐禅体験。坐禅後、微妙殿に移動し河野会長導師のもと、朝のお勤めが厳修されました。法要中では東日本大震災被災者追悼供養と、ツアー参加者の先祖供養のご回向がなされました。

法要後朝食、境内拝観後、再び微妙殿に移動し、河野会長のご法

話。江戸時代後期の仙厓和尚の「老人六歌仙」という歌を題材にご法話が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

法話後は、河野会長を囲んで記念撮影、昼食後解散となりました。ツアーに関する詳細なご報告に関しましては、全日本仏教会ホームページをご覧ください。

<http://www.jbfn.jp/>

場所・日時	摘 要
4月22日 花園会館 妙心寺発 仁和寺 龍安寺 妙心寺着	現地集合（京都：花園会館） 妙心寺山内特別拝観（開山堂、玉鳳院※非公開） 特別拝観（金堂、御殿など） 特別拝観（石庭、茶室、方丈、仏殿、襖絵など） 【夕食】退蔵院書院にて河野会長を囲んでの夕食 ※「阿じろ」（ミシュラン認定店の精進懐石料理） 夕食後解散（花園会館泊）
4月23日 妙心寺 花園会館	坐禅体験（法堂） 法要（微妙殿） 【朝食】花園会館にて朝粥膳 妙心寺山内特別拝観（浴室、法堂、大方丈） 河野太通会長ご法話 記念撮影 【昼食】花園会館にて昼食 昼食後、解散

親鸞聖人750回大遠忌法要（浄土真宗本願寺派）



大谷光真門主導師のもと法要が修行された

浄土真宗本願寺派（橋正信総長、京都市下京区）の親鸞聖人750回大遠忌法要が「世のなか安穩なれ」のスローガンのもと、四月九日から本願寺・御影堂で始まった。宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲び、お念仏のみ教えを受けとめ伝え広める機縁とするともに、東日本大震災で被災された方の悲しみに寄り添い、思いを分かち合うことを願いとし、来年一月十六日まで青少年・幼児を対象とした法要行事を含め、六十五日間百十五座にわたり修行され、四十万人が参拝する予定。四月は十六日までの八日間、被災地を含め全国から団体参拝を中心に一日六千人を超える門信徒が参拝。「書院・飛雲閣」拝観や本山

正面に新たに開設された仏教総合博物館「龍谷ミュージアム」をはじめ、門前町での記念行事「ご縁まちフェスタ」なども多数の来場者が訪れた。期間中約五万五千人が五十年に一度のご勝縁を喜び、お念仏のみ教えを讃えるひとときを過ごした。

法要初日の九日早朝には、大谷光真浄土真宗本願寺派門主が親鸞聖人の御真影の御厨子の扉を開けられる「御親開」が行われた。午前十時からの法要では、阿弥陀堂と御影堂の渡り廊下付近と、御影堂南側に置かれた高さ六mの大太鼓に合わせて縁儀が行われ、大谷光真門主導師のもと法要が修行された。法要後、大谷光淳浄土真宗本願寺派新門、大谷光真門主がお言葉述べられ、東日本大震災で亡くなった方への哀悼の思いと被災者へのお見舞いととともに、お念仏に生きるこの意味を確かめ、御恩報謝の生活に励むことの大切さを示された。

なお、大遠忌法要開始前日の四月八日には「東日本大震災追悼法要」二十八日には「四十九日法要」が本山・阿弥陀堂で営まれ、大遠忌法要期間中、被災地の一日も早い復興を願い「災害義援金」活動を行っている。

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要（真宗大谷派）

真宗大谷派の宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要の第二期法要が真宗本願（京都・東本願寺）で厳修された。東日本大震災を受けて、第一期法要を「被災者支援のつどい」に変更しており「御遠忌」としての法要は初となる。

四月十九日から始まった第二期法要では、初日に約五千四百人が参拝し、被災者支援のつどい同様、宗派の救援活動について現状報告が行われた。安原晃宗務総長は「今まさに大災害の前に、生き様としての信心が問われている」と挨拶し、御遠忌に対する姿勢を改めて表明された。宗派に関する被害状況は、東北・東京を中心に九百二十六ヶ寺中、三分の一を越える三百四十ヶ寺以上の寺院に及んでいる。全国から寄せられた救援金は一億四千万円にのぼり、レトルト食品や白米を災害救援本部で預かり、救援物資として被災地へ届けられている。また、第二期法要では莊嚴である華東を半数にして、その費用は被災地への救援金へ回した。

法要に先立ち、大谷暢顯門首が挨拶し「震災によって我々はあらためて生死無常の世界を生きている身の事実を知らされた。親鸞聖人は大地震、大飢饉に何度も遭わ

れた。晩年のご消息に、飢饉で多くの人が亡くなったことを深く悲しまれながら、いよいよ本願を信じて往生の道を歩まなければならぬ」と記されている。震災の事実には立ち、真の教団の意義を現実の人間関係の上に聞き開いていきたい」と述べた。

法要後、竹田恵示参務が決意表明として「被災された方々に何もできない自分であることを心に体し、支援をせずにはおれない思いから、精一杯活動したい」と話した。

第三期法要は五月十九日から二十八日まで厳修される。なお、法要は真宗大谷派ホームページにてライブ配信している。



満堂の御影堂（写真は被災者支援のつどい）

東日本大震災に関する 救援基金募集のお知らせ

本会では国内外における災害救援や人道的支援等に対し、緊急且つ迅速な対応をすべく「救援基金」を常時開設しております。今回の大災害に対しても、三月十六日に一千万円を日本赤十字社に寄託しました。

今後、現地の被災者に最も役立つ方法を地域仏教会、仏教系NGO団体等と協力しつつ、被災者支援を継続して行っていきます。

つきましては今回の大災害に対し、加盟団体、各ご寺院、檀信徒・門信徒のみなさま、そして宗派・宗教を超えて、みなさまの温かい浄財をお寄せ頂ければ幸いです。

尚、救援金は左記口座までお寄せ頂きますようお願い申しあげます。

※指定寄付の場合は「東日本大震災」と振替票にご記入ください。

記

郵便振替口座

口座番号

00110-9-704834

口座名義 全日本仏教会救援基金

「救援基金」寄付者一覧

(四月十八日～五月九日)

サイツ仏教会
株式会社 安田念珠店

宮崎市仏教会
香川県仏教会

台湾中華佛寺協会

ハワイ仏教連盟

日輪山 西澄寺

上行寺

伊東仏教会

宮崎県 西都市仏教会

厳定院 住職 山田潮亮

狛江市仏教会

稱揚寺 日野教正

玉川仏教会

興昭院

練馬区仏教会

真光寺

長福寺 近藤隆明

天台宗 東光寺 福田廣光

源法寺

蒲田仏教会

正行寺

大聖院

永福寺

善仁寺 青山昌雄

龍泉院 小村正治

西光庵

赤坂仏教会

浄風寺

円光院

観音寺 新倉善秀

大林寺 大本山 円覚寺

中津市仏教会

長崎釈尊鑽仰会

東京ブティストクラブ

(順不同・敬称略)

合計

一千六百八十四万八千六百九十八円

ご支援誠にありがとうございました。

東日本大震災被災寺院の復興へ向けての提案 ——「指定寄附金」制度活用について——

全日本仏教会をはじめとして仏教界では、過去の阪神淡路大震災・新潟中越沖地震の際にも被災寺院の復興のため、宗派を挙げ、また宗派の枠を超えて様々な取り組みを行ってまいりました。

この度の東日本大震災につきましても、本会が加盟する日本宗教連盟は四月十二日文科科学大臣に対し、先の大震災を上回る被害を鑑みて、「指定寄附金」の措置をとられるよう要請をいたしました。政府は翌日十三日に「指定寄附金」の措置を決定しました。この制度を活用すると、次のような利点がございます。

「指定寄附金」制度活用の利点

指定期間内に支出された寄附金については、寄附金控除の対象となります。

個人の場合 控除可能限度枠八十%または寄附金額のいずれか少ない方の金額から二千元を控除した金額を所得から控除

法人の場合 全額が損金算入の対象になります

一. 申請方法について

① 包括宗教学法人が被包括宗教法人(被災寺院)を取りまとめて一括申請

② 被包括宗教学法人(被災寺院)が個々に申請

二. 申請期間について

財務省の告示後二年間。但し延長可能。阪神淡路大震災の際は八年間となりました

三. 指定寄附金の目標額(寄附限度額)について

土地・建物及び建築物等を原状回復するために必要な事業費が募集対象限度額となります。

被災した寺院の現状回復を目指す上で、この「指定寄附金」制度の活用をご提案致します。

今後も機関誌『全仏』や全日本仏教会ホームページにてこの「指定寄附金」制度についての詳細や活動をご報告させて頂く予定です。日本宗教連盟が提出した要望書は左記ホームページを参照下さい

<http://www.jaoro.or.jp/>

document/youbousho.pdf

事務総局録事

四月（十一日～三十日）

- 十九日▼朝日ビジネスソリューション 山木村氏・山中氏来局
 二十日▼局内会議
 ▼朝日ビジネスソリューション ヨン木村氏・山中氏来局
- 十二日▼日本宗教連盟平成二十三年度第一回幹事会出席（本公会議室）
 ▼朝日ビジネスソリューション ヨン木村氏来局
- 十三日▼「同宗連」結成三十周年記念式典出席（ホテルグランヴィア京都）
 ▼トップツアー来局
- 十四日▼第三十一回「同宗連」総会出席（真言宗智山派宗務庁）
 ▼東京都仏教連合会・江戸川仏教会と瑞江葬儀所にて被災者回向及び受付
- 十五日▼笹木竜三文部科学副大臣、近藤誠一文化庁長官と面談（文部科学省、文化庁）
 ▼四ツ木斎場にて被災者回向及び取材
 ▼仏像ガール®来局
- 十六日▼四ツ木斎場にて被災者回向及び取材
 ▼東日本大震災被災者追
- 二十一日▼宗教法人審議会出席
 ▼本会主催「禅にふれる旅妙心寺ツアー」開催（至二十三日）
- 二十五日▼『手塚治虫のブツダ』展」内覧会出席（東京国立博物館）
 ▼朝日ビジネスソリューション 山木村氏・山中氏来局
- 二十六日▼真宗大谷派宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要出仕（京都・真宗本廟）
 ▼京都数珠製造卸協同組合理事長来局
- 二十七日▼第二十九期各審議会および宗教教育推進委員会正副委員長合同懇談会（本公会議室）
- 二十八日▼局内会議
- 五月（一日～十日）
- 二日▼日本宗教連盟監査会出席（本公会議室）
- 五日▼WFB執行役員会議出席（韓国 至七日）
 ▼大和証券佐藤氏来局
- 九日▼局内会議
 ▼東日本大震災支援検討会議（本公会議室）
- 十日▼日本宗教連盟理事会・参議会出席（増上寺会館）
- 二十日▼長崎市仏教会一月師来局
 ▼イオン広原氏来局
- ▼悼法要を厳修（本公会議室）
 ▼「葬儀本.com」に要請書を再度提出

無料法律相談室

本会顧問弁護士 長谷川正浩弁護士の、
 無料法律相談を毎月第二、第四木曜日の午後開催しております。
 本会事務総局03(3437)9275へ事前予約の上おいで下さい。

表紙写真紹介

「名古屋」

桂芳院の愚痴聞き地藏さま
 名古屋駅近くのオフィス街を歩いていると、「愚痴聞き地藏尊」と書かれた旗が目飛び込んできました。お地藏さまが大好きな私、ぜひお参りさせてください！と思いついていくと、お寺の境内にそのお地藏さまはいらっしゃいました。

耳を手にあて、何でも聞いてくれそうな愚痴聞き地藏さま。「なあに？」と声が聞こえてきそうな、なんとも優しいお姿です。そして、お地藏さまの前には椅子が。ゆっくりとお話できるように、というお寺さんの気遣いがうれしいです。

毎日生きていくと、ちよつとずつ溜まってしまふ愚痴。人に話すと自分は楽にはなるけれど、嫌な気持ちや他の人にまで伝染させてしまいます。だからといって、自分の中に不満を溜めておくのも苦しい……。そんなときのために、このお地藏さまがいらつしやいます。ちよつと毎日が辛くなってきた、ぜひ会いに行ってみてくださいね。

ちなみに、愚痴聞き地藏さまは秘密厳守なのでご安心を。お地藏さまの台座にはしっかり「秘密」と書かれていますよ。

仏像ガール®

各地の東日本大震災四十九日追悼法要



○天台宗 比叡山延曆寺 阿弥陀堂
半田孝淳天台座主導師、比叡山一山住職総出仕のもと厳修。平和の鐘が打ち鳴らされた。



○高野山真言宗 神奈川県横浜市 大聖院
高野山真言宗神奈川自治布教団主催、鳴鐘が行われた。役員と支所下寺院住職30名が参加した。



○日蓮宗 千葉県市川市 法蓮寺
渡邊照敏宗務総長を導師に厳修。鳴鐘が行われた。



○聖観音宗 金龍山浅草寺
浅草寺一山総出仕による法要が本堂で厳修。鳴鐘が行われ、多くの参拝者が参列した。

本会推薦映画

手塚治虫のブッダ—赤い砂漠よ! 美しく—

5月28日より全国映画館で絶賛上映中!!

■全日本仏教会推薦

■文化芸術振興費補助金助成

世界中から愛され続ける『手塚治虫のブッダ』が遂に映画化されます。

キャスティングに吉永小百合、堺雅人、吉岡秀隆を擁し、混迷の時代と言われる“今”を生き抜く力をくれる、一大エンターテインメント作品として壮大なくいのちのドラマを描きます。皆さま是非映画館へ足をお運び下さい。

詳細は下記公式HPよりご確認下さい。
<http://www.warnerbros.co.jp/buddha/>

